

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	富士松市民センター		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	9					作成者	隅田 信之		
P L A A N	事業概要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進						
		目的	富士松市民センター施設の維持管理を行い、施設利用者に安全で快適な空間を提供する。				主たる内容	○施設利用に係る受付事務 ○施設清掃、施設の修理、各種設備機器の日常・定期点検の実施などを通しての施設の適正な維持・保守管理		
		対象者	市民							
		実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画				
事業期間	S59～		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
B D O	事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係る受付事務 施設清掃、施設の修理、各種設備機器の日常・定期点検の実施などを通しての施設の適正な維持・保守管理 		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係る受付事務 施設清掃、施設の修理、各種設備機器の日常・定期点検の実施などを通しての施設の適正な維持・保守管理 		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係る受付事務 施設清掃、施設の修理、各種設備機器の日常・定期点検の実施などを通しての施設の適正な維持・保守管理 		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係る受付事務 施設清掃、施設の修理、各種設備機器の日常・定期点検の実施などを通しての施設の適正な維持・保守管理 		
		成果 (できたこと)	施設利用者に安全で快適な空間を提供することができた。							
		課題 (できなかったこと)	施設の老朽化が進む中で、施設利用者に安全で快適な空間を提供するため、適切な維持管理が求められる。							
		指標名称			実績値			目標値		
					20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
富士松公民館年間利用者数			25,075人	25,731人	26,483人	26,600人	26,700人			
施設利用率			37.9%	36.3%	35.0%	38.0%	39.0%			
他市との比較検証		近隣市(安城市)においても、10箇所の公民館を管理している。								
C	事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
		単位：千円			14,608	16,240	11 需用費	4,434,135 円		
		事業費	11,081	10,494	10,984	11,672	12 役務費	200,625 円		
		特定財源		1,446	1,390	1,624	13 委託料	6,301,585 円		
		一般財源		9,048	9,594	10,048	14 使用料及び賃借料	47,922 円		
		職員人件費			3,624	4,568	合計	10,984,267 円		
建設事業	全体事業費			備考(補助名称等)						
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			施設整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	富士松市民センター		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	9					作成者	隅田 信之		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進						
	目的		施設の利便性、快適性の向上、施設寿命の長期化を図る。				主たる内容	○施設の利便性、快適性の向上を図るための施設整備 ○施設の老朽化が進む中、施設を良好に維持し、施設寿命の長期化を図るための計画的な修繕		
	対象者		市民							
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画 第2次刈谷市生涯学習推進計画					
	事業期間		不明～		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・2F・3F便器取替工事 ・1Fカウンター工事 ・監視カメラ設置工事 ・事務室・休憩室改修工事 ・老人センター内装工事 ・空調設備取替工事 		<ul style="list-style-type: none"> ・第1駐車場外溝改修工事（排水管取替） ・第3駐車場増設工事 		<ul style="list-style-type: none"> ・研修室等改修工事（研修室、大集会室のクロス張替、天井塗装等） ・実習室等改修工事（児童集会室、図書室、遊戯室、実習室の天井塗装、内壁塗装、建具塗装等） ・地上デジタル放送対応工事 		<ul style="list-style-type: none"> ・屋根防水工事（施設補修事業で実施） 			
	成果 (できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度の空調設備取替工事により熱交換の能力向上が図られ、電気料の縮減ができた。 ・平成21年度の第3駐車場増設により、駐車場不足の軽減が図られた。 ・施設整備により、施設の利便性、快適性の向上を図ることができつつある 							
	課題 (できなかったこと)		<ul style="list-style-type: none"> ・安定的に駐車場を確保するため、現在借地している駐車場用地の買い上げが必要である。 ・施設の老朽化に伴い、電気設備補修工事、エレベーター改修工事、給水管ライニング工事等が必要である。 							
	指標名称		実績値			目標値				
		20年度	21年度	22年度	23年度	25年度				
生涯学習施設整備の満足度平均ポイント		3.02ポイント	調査なし	3.19ポイント	4.00ポイント	5.00ポイント				
他市との比較検証										
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				3,642		15 工事請負費 2,554,650 円			
	事業費		39,017	6,980	2,555		合計 2,554,650 円			
	特定財源			0	0					
	一般財源			6,980	2,555					
	職員人件費				1,087	0				
建設 事業	全体事業費						備考（補助名称等）			
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			備品整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	富士松市民センター		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	9	作成者	隅田 信之						
P L A A N 要	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進						
	目的	施設利用者の利便性及び快適性の向上を図るため、備品を充実させると共に老朽化した備品の更新を行う。				主たる内容	備品の新規購入及び老朽化した備品の更新			
	対象者	市民								
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画					
	事業期間	不明～	根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	ワイヤレスアンプ1台 マッサージチェア1台 オープンレンジ2台 AEDバッテリー1個 卓球台3台 間仕切りパネル1式 ホワイトボード1基 台車3台 パーソナルMD1台		卓上ガスコンベック2台 電気冷蔵庫1台		卓上ガスコンベック2台		_____			
	成果 (できたこと)	施設利用者の利便性及び快適性の向上を図るため、老朽化した備品の更新を行うことができた。								
	課題 (できなかったこと)	平成23年度予算要求において、ガステーブルコンロ4台の更新の要求をしたが、予算がつかなかった。								
	指標名称			実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
生涯学習施設整備の満足度平均ポイント			3.02ポイント	調査なし	3.19ポイント	4.00ポイント	5.00ポイント			
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				1,336		18 備品購入費		249,480 円	
	事業費		992	387	249		合計		249,480 円	
	特定財源			0	0					
	一般財源			387	249					
職員人件費				1,087						
建設事業	全体事業費				備考（補助名称等）					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			市民講座開設事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	富士松市民センター	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	9					作成者	隅田 信之	
P L A A N	第7次総合計画		分野	教育文化 生涯学習 学習機会の充実			主たる内容		
	基本施策 施策の内容								
	目的		市民（市内在住者又は在勤者）が知識や教養を高めたり、優れた技能やそのノウハウを習得することにより、生きがいを感じ、充実した人生を送るため、あるいは、学習活動を通して学習者相互のふれあいの場となるように、学習の場を提供するとともに、生涯学習活動の推進に資する。			各種講座を概ね下記のとおり開催する。 ○講座数：前期3講座、後期3講座 ○受講期間等：約3ヶ月、10回程度 ○1講座当たりの受講者：10人～30人程度			
	対象者		市民						
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画			
事業期間		不明～	根拠法令	社会教育法					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	市民講座開設数 8講座 市民講座受講者数 155人		市民講座開設数 7講座 市民講座受講者数 162人		市民講座開設数 6講座 市民講座受講者数 124人		市民講座開設数 8講座 市民講座受講者数 157人		
	成果 (できたこと)		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。						
	課題 (できなかったこと)		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。						
	指標名称		実績値			目標値			
		20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
市民講座受講者数		155人	162人	124人	157人	160人			
他市との比較検証		近隣市(安城市)においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。							
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				3,381	3,694			
	事業費		581	524	482	649	8 報償費	426,000 円	
	特定財源			147	103	127	11 需用費	35,000 円	
	一般財源			377	379	522	12 役務費	21,000 円	
	職員人件費				2,899	3,045	合計	482,000 円	
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)					
		22年度迄の累積事業費							
		24年度以降の事業費見込							

会計名			学習発表会実施事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	富士松市民センター		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	9					作成者	隅田 信之		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習活動の支援						
	目的		富士松市民センター利用団体の学習意欲の向上と利用団体間の交流、地域住民との親睦を図る。			主たる内容		富士松市民センターにおいて、年1回、利用団体による学習成果の展示会・芸能発表会、お茶会を行う。		
	対象者		富士松市民センターの利用団体及び地域住民							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画				
	事業期間		H2～		根拠法令	社会教育法				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	2月22日(日)開催 参加団体数 27団体 参加者数 328人 入場者数 300人		2月21日(日)開催 参加団体数 26団体 参加者数 272人 入場者数 383人		2月20日(日)開催 参加団体数 23団体 参加者数 225人 入場者数 348人		2月下旬開催予定 参加予定団体数 28団体 参加者予定数 313人 入場者予定数 367人			
	成果 (できたこと)		参加者の学習意欲の向上が図られ、新たな学習課題の発見につながった。 参加団体間の交流が図られた。 参加者と地域住民の交流や親睦が深められた。							
	課題 (できなかったこと)		参加団体数、参加者数、入場者数とも前年実績を下回った。 参加団体数、参加者数、入場者数を拡大する方策が求められる。							
	指標名称			実績値			目標値			
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
	参加団体数			27団体	26団体	23団体	28団体	29団体		
来館者数(参加者数+入場者数)			628人	655人	573人	680人	700人			
他市との比較検証		近隣市(安城市)においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				1,770	1,843	13 委託料 320,000 円			
	事業費		320	320	320	320	合計 320,000 円			
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			320	320	320				
	職員人件費				1,450	1,523				
建設 事業	全体事業費				備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									